

目次

- 2023年度第1回理事会および第1回部門理事会・評議員会合同会議開催 1
- 2023年度部門総会および定時総会の開催 2
- 新役員一覧 3
- 2023年JIMGA表彰受賞者 4
- 2023年度春のIOMA GC会議がWebで開催 5
- 第63回日本呼吸器学会学術講演会に出展 6
- 賛助会員 一株式会社クライオワン 7
- JIMGAオリジナルソング「高圧ガスのうた」が公開されました 9
- ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2023年4月15日~2023年6月15日掲載— 10
- 新事務局職員の紹介 11
- 気ままにコラム 12



2023年度第1回理事会および第1回部門理事会・評議員会合同会議開催

5月25日に経団連会館で2023年度第1回理事会および第1回部門理事会・評議員会合同会議を開催しました。

冒頭、事務局から理事21名（内ウェブ2名）、監事3名の出席であり、いずれの会議も成立していることが報告されました。引き続き上原会長より、5月初～中旬に開催された地域本部総会で会員の方から、新会費基準の検討に関することと、協会史の編纂に関するご意見をいただき、いずれもきちんと取り組んでいきたいとお話をいただきました。

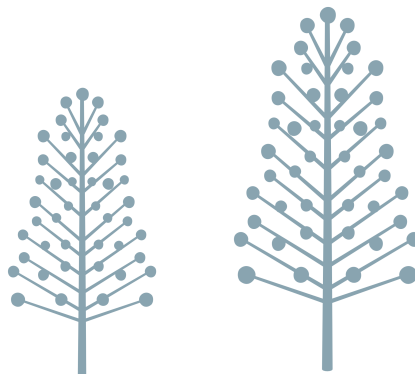
その後予定していた7議案の審議に入り、いずれも原案通り承認されほぼ定刻に閉会いたしました。

本会議の資料はJIMGAウェブサイトにて会員ログインのうえ以下URLよりダウンロードが可能です。（理事会・評議員会議案書 <https://www.jimga.or.jp/report/rijikai/>）

（運営グループ 原 浩一）



会議の様子



2023年度部門総会および定時総会の開催

6月14日に経団連会館で2023年度医療ガス部門総会、産業ガス部門総会、定時総会を開催しました。

冒頭、上原会長は挨拶で「新型コロナウイルスの感染拡大はやや落ち着きを見せ、酸素、窒素、アルゴンの市況は通常を取り戻しつつあるが、JIMGAの事業はまだまだ回復途上。今年度は行政との対話、交渉等の活動を前進させていく。また、運営体制については、本日の総会で定款変更という特別決議を経て、2024年4月から新たな体制に移行したい。今年度新たに策定した運営方針では、①安全、②もの申す団体、③カーボンニュートラル、と具体的に推進するテーマを明確にした。会員の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻をお願いしたい」と述べました。



上原会長挨拶

医療ガス部門総会、産業ガス部門総会では各部門別評議員の選任の件、引き続き開催した定時総会では2022年度事業報告および収支決算案、2023年度事業計画および収支予算案、定款変更および地域本部運営規程改定の件、評議員ならびに理事、監事選任の件の4議案を原案通り承認いただきました。（新役員一覧はP3参照）

定時総会に引き続き行われた2023年JIMGA表彰式では、当日ご出席いただいた受賞者の皆様へ上原会長より表彰状と記念品が贈られました。（表彰受賞者一覧はP4参照）

懇親会では経済産業省の山下隆一製造産業局長、厚生労働省の榎本健太郎医政局長、特別民間法人高圧ガス保安協会の近藤賢二会長より祝辞をいただき、鈴木慶彦副会長による乾杯後、ご参会の皆様の懇談が和やかに進みました。その後、田中豪副会長の中締めでお開きとし、全ての行事を終了しました。

今年度の定時総会は、昨年度より再開した会長記者会見、総会セミナー、表彰式に加えて懇親会も開催し、4年ぶりに全ての行事を併催することができました。ご参集いただきました会員の皆さまには深く御礼申し上げます。

総会資料は、JIMGAウェブサイトにて会員ログインのうえ以下URLよりダウンロードが可能です。（総会議案書 <https://www.jimga.or.jp/report/sokai/>）

（運営グループ 原 浩一）



定時総会の様子



表彰受賞者の皆さま

新役員一覧

(敬称略・順不同)

会長・代表理事	上原 正弘	(大陽日酸株式会社)
副会長・理事	田中 豪	(エア・ウォーター株式会社)
副会長・理事	鈴木 慶彦	(株式会社鈴木商館)
副会長・理事	牧原 康二	(日本エア・リキード合同会社)
副会長・理事	堀口 誠	(岩谷産業株式会社)
副会長・理事	小池 英夫	(小池酸素工業株式会社)
副会長・理事	黒木 幹也	(高压ガス工業株式会社)
副会長・理事	玄間 隆之	(東京ガスケミカル株式会社)
副会長・理事	吉田 克也	(大阪ガスリキッド株式会社)
副会長・理事	上羽 尚登	(岩谷瓦斯株式会社)
副会長・理事	古川 史人	(東亜テクノガス株式会社)
副会長・理事	田中 正人	(帝人ファーマ株式会社)
副会長・理事	吉岡 信男	(エア・ウォーター・ライフサポート株式会社)
副会長・理事	本間 隆生	(山形酸素株式会社)
副会長・理事	岩澤 昌之	(株式会社イワサワ)
副会長・理事	南部 淳	(株式会社ナンブ)
副会長・理事	中村 顕	(宇野酸素株式会社)
副会長・理事	大井 常義	(株式会社大和サンソ)
副会長・理事	藤井 宗武	(藤井商事株式会社)
副会長・理事	太田 賀久	(高松帝酸株式会社)
副会長・理事	宮嶋 寛幸	(福豊帝酸株式会社)
専務理事	澤木 実	(一般社団法人 日本産業・医療ガス協会)
常務理事	瀬戸 昭則	(一般社団法人 日本産業・医療ガス協会)
代表監事	平倉 一夫	(株式会社レゾナック・ガスプロダクツ)
監 事	池田 悦哉	(東邦アセチレン株式会社)
監 事	簗口 基治	(株式会社世田谷酸素商事)

2023年JIMGA表彰受賞者

医療ガス部門

(敬称略・順不同)

業務功労賞 標準化功労賞	鈴木 基雄 (株式会社千代田) GDPガイドライン策定ワーキンググループ 二本木 正志 (株式会社イワサワ) 小川 敬 (岩谷産業株式会社) 西本 敬輝 (エア・ウォーター株式会社) 伊達 恒雄 (株式会社サイサン) 平尾 浩二郎 (大陽日酸株式会社) 鈴木 基雄 (株式会社千代田) 岡村 和也 (日本エア・リキード合同会社) 安部 直敏 (日本メガケア株式会社) 瓦井 浩之 (光酸素株式会社)
保安教育功労賞 保安教育功労賞 地域活動功労賞 安全賞 安全賞 安全賞 安全賞	河内 信 (日東物産株式会社) 荒木 聖文 (高松帝酸株式会社) 岡野 洋太郎 (株式会社神戸サンソ) 株式会社県央ガスセンター イワタニ北陸ガスセンター株式会社 高浜酸素株式会社 日ノ丸産業株式会社

産業ガス部門

災害功労賞 保安教育功労賞 地域活動功労賞 地域活動功労賞 地域活動功労賞 安全賞	柳川 隆則 (株式会社宝山産業) 樋笠 和樹 (四国アセチレン工業株式会社) 庄司 昭史 (高压ガス工業株式会社) 小林 通匡 (ニッキフッコー株式会社) 大村 利美 (福豊帝酸株式会社) 東日本高压株式会社 千葉工場
--	--

2023年度春のIOMA GC会議がWebで開催

2023年度春のIOMA（International Oxygen Manufacturers Association/国際酸素製造者協会）のGC（Global Committee/国際委員会）が4月21日（金）20時～21時50分までWeb形式で行われました。

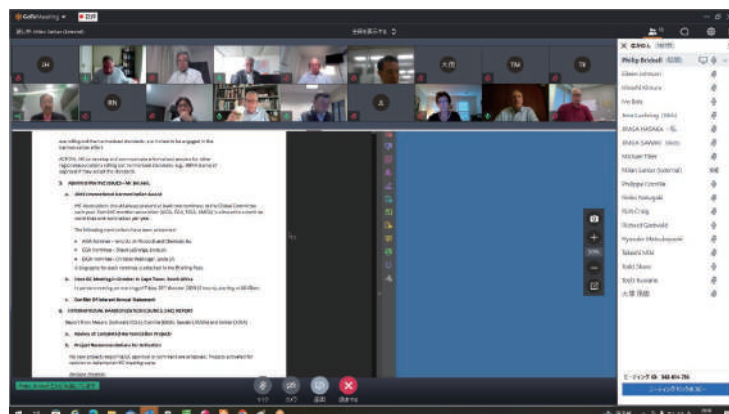
GCメンバーの Air Products Europe（Ivo Bols 議長）、Messer（Jens Luehring 副議長）、岩谷産業（堀口副社長の代理喜村氏）、エア・ウォーター（松林社長）、Linde（Todd Skare氏）、日本酸素ホールディングス（三木常務）6社の参加があり（Air Liquide（Pascal Vincent氏）は欠席）、産業ガス協会4協会（AIGA、CGA、EIGA、JIMGA（澤木専務））、IOMA事務局2名、Whiteford Taylor Preston 法律顧問1名、サポート5名（うち日本からの参加は、JIMGA羽坂、日本酸素HD久和野氏、エア・ウォーター大塚氏）の参加がありました。

Ivo Bols議長（Air Products Europe）によって会議が開始されました。定足数確認、独占禁止法遵守宣言、前回会議議事録の承認を経て、2023年度の国際統合化功労賞にAIGAより初めて、Jerry Lu氏（Air Products）をGCとして推挙することが決まりました。表彰は今年南アフリカのケープタウンで開催予定のIOMA総会で行われる予定です。

続いて、IHC（International Harmonization Council/国際統合化委員会）の活動進捗が確認され、1件のプロジェクトの活動開始が承認されました。温室効果ガス排出量の持続可能性指標に関しては、統合化文書発行が1年遅れていることがGCより指摘され、「GHGプロトコル Scope3*」の取扱いに関する合意が得られていないことが遅延の原因であるとの説明がありました。GCからは、Scope3を含むように対応することが推奨されました。水素関連統合化活動については、世界的なゼロエミッションの方針を受け、IHCとして、水素事故情報を収集する作業を行っており、新たな統合化基準作成作業（水素システム保安距離、作業手順書、移充填設備の接続形状）を行なっていること、他の水素関連協会（例えば、ISO/TC197 および Hydrogen Council）に積極的に参加していることが報告されました。

次回のIOMA 総会は、10月26～30日に南アフリカのケープタウンで、対面方式にて開催され、GC会議は10月27日に行われる予定です。（国際部会 事務局 羽坂 智）

*GHGプロトコルScope3：温室効果ガス（Green House Gas：GHG）の排出量を算定・報告する際の国際的な基準で、Scope3は、自社製造以外の上流（原材料、通勤、輸送・配送）、下流（製品の使用と破棄）を含む排出量を指す。



第63回日本呼吸器学会学術講演会に出展

2023年4月28日(金)～30日(日)に東京国際フォーラム(東京・有楽町)で第63回日本呼吸器学会学術講演会が開催されました。JIMGAもブースを出展し、在宅酸素療法における火気取扱いと携帯用酸素ボンベの取扱い注意について啓発活動を行いました。

本学術講演会は、コロナ禍においてハイブリット方式で開催されていましたが、本年度は、対面を基本とした開催となり、参加できない方のために、後日オンデマンド配信が実施されました。

学術講演会登録者は約9,200名で史上最高の登録数であったと高橋大会長(順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学主任教授)より発表がありました。



案内パネル



JIMGAブース

JIMGAブースでは火災予防啓発ビデオ上映を実施

JIMGAブースでは、2022年制作の在宅酸素療法中の火災予防啓発ビデオを上映しました。また、配布用に各種パンフレットを当ブースと学術大会受付付近のテーブルに配置し、JIMGAが作成した「ヒヤリ・ハット事例集(在宅)」、「ヒヤリ・ハット事例集(病院編)」を抜粋した冊子、在宅酸素火災予防キャンペーンポスター、厚生労働省と情報共有している火災事故リーフレット等については、相応の関心を持っていただけました。今回もMGR紹介のパンフレットを置いて来場者に配布し、MGRの紹介にも努めました。

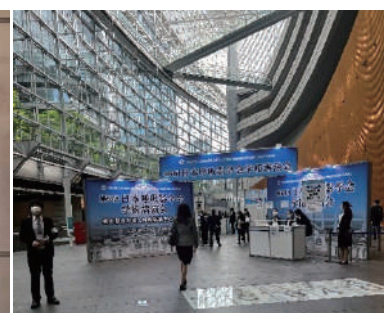


各講演にも参加しましたが、久しぶりに満席の会場で活気にあふれ、講演される先生方も力が入った説明をされていました。東京国際フォーラムでは、学術講演会以外の催しもされており、連休の最中とも相まって人、人、人で久しぶりにコロナ禍前を思い出させる日々でした。

第64回日本呼吸器学会学術講演会は、2024年4月5日(金)～7日(日)に、横浜市みなとみらいのパシフィコ横浜ノースで開催されます。(在宅酸素部会 事務局)



高橋大会長挨拶の様子と会場受付ブース



賛助会員 —株式会社クライオワン—

沿革

当社は、2005年4月に低温機器メーカーのダイヤ冷機工業(株) (堺市築港新町) と日酸工業(株) (横浜市鶴見区) が合併し、商号を株式会社クライオワンと改め、大阪府堺市堺区大浜西町に本社工場を設立、生産を開始しました。

両社が長年にわたって培った設計・検査技術、溶接技術、真空技術、製缶技術などのシナジーを結集し、低温機器業界をリードするモノづくり企業として成長しております。

工場のご紹介

当社の敷地面積は甲子園球場グラウンド面積の約1.5倍の19,416m²で、従業員は86名(2023年4月現在)、工場は第一工場、第二工場、事務所からなります。

第一工場は超低温液体ガスを安全に貯蔵・運搬するための**可搬式超低温液化ガス容器(LGC)**や液体窒素を用いて血液や細胞、精子などを超低温下で長期間保存する**凍結保存容器**、低温液化ガスを安定的に気化させる**蒸発器**を主に製作しております。

第二工場では大容量の液化ガスの貯蔵や輸送が可能な**超低温液化ガス貯槽(CE)**および**超低温液化ガス輸送車(ローリ)**を製作しております。

また、当社が保有する主な認証資格は、ISO 9001認証事業所をはじめ、高圧ガス設備大臣認定事業所(管類・蒸発器)、登録特定設備製造業者などが挙げられ、高品質で安全で安定した製品をお客様に提供しております。



工場外観

【これからの取組み】

これからのモノづくりは、これまで以上にデジタル化とグローバル化が進展し、変化が激しい時代となるでしょう。当社では、こういった変化に対応するとともに従業員のスキルアップや人材育成にも力を入れ、低温液化ガスを貯蔵、輸送、運搬、供給する低温機器を製作し、引き続きお客様のニーズにお応えし、産業の発展に大きく貢献してまいります。

(株式会社クライオワン 取締役 六車 淳)

主な取り扱い製品



可搬式超低温液化ガス容器 (LGC)



超低温液化ガス貯槽 (CE)



超低温液化ガス輸送車 (ローリ)

「JIMGA高圧ガスのうた」3曲を公開しました

5月15日、高圧ガス事故防止のための啓発活動の一環として制作したオリジナルソングをYouTubeで公開しました。楽曲は「JIMGA 高圧 ガスのうた ～ガスってなぁに?～」、「JIMGA 高圧ガスのうた ～びょういんさんそんぐ～」、「JIMGA 高圧ガスのうた ～ざいたくさんそんぐ～」の3曲です。

JIMGAウェブサイトにて曲名を募集し、会員の皆さまから寄せられたアイデア、産業・医療ガス業界への想いを参考にさせていただき事務局にて決定しました。ご応募いただきました皆様へは深く感謝申し上げます。

ガスユーザーの皆さまへ向け、産業ガス・医療ガスの知識および高圧ガス容器の取扱いの注意点を歌詞に乗せて、親しみやすいメロディとともにお届けしています。事故の無い安全な高圧ガスの世界を目指すうえでの一助となれば幸いです。社内教育や各種講習会等でのツールとして、ぜひご活用ください！ (広報委員会 事務局)



「JIMGA 高圧 ガスのうた ～ガスってなぁに?～」— 高圧ガスの基本的な取扱い
<https://www.youtube.com/watch?v=pP5UilvVWFo>



「JIMGA 高圧ガスのうた ～びょういんさんそんぐ～」— 医療用酸素の取扱い方法や注意事項
<https://www.youtube.com/watch?v=M7iJ78Wf5IM>



「JIMGA 高圧ガスのうた ～ざいたくさんそんぐ～」— 在宅酸素の取扱いや注意事項
<https://www.youtube.com/watch?v=2sKdfIW5Zto>

ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2023年4月15日~2023年6月15日掲載—

JIMGAウェブサイトでは、会員の皆様に向けた最新の情報をお知らせページにて掲載しています。2023年4月15日~6月15日までに掲載したお知らせをまとめましたので、URLよりご覧ください。最新のお知らせはこちら→<https://www.jimga.or.jp/news/>



- 2023.06.15 (周知依頼) 令和5年度税制改正を踏まえたインボイス制度に関する 周知等について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1341>
- 2023.06.12 MGRテキスト2023年度版 発売のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1340>
- 2023.06.09 第29回受託責任者更新時講習会、令和5(2023)年保守点検従事者研修講習会開催のご案内<第1報>
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1339>
- 2023.06.01 【厚生労働省連絡事項】梅雨前線による大雨及び台風第2号に対する警戒と安全確認の対応について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1337>
- 2023.05.30 「酸化・可燃性混合ガスの調製」発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1336>
- 2023.05.30 「製造所での大量の酸素、窒素及びアルゴンの貯蔵設備」発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1335>
- 2023.05.30 「混合ガスの安全な製造指針」発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1334>
- 2023.05.25 2023年度定時総会招集について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1331>
- 2023.05.23 「JIMGA 高圧ガスのうた」曲名募集結果のご報告
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1333>
- 2023.05.16 曲名決定！本日「JIMGA 高圧ガスのうた」を公開しました
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1332>
- 2023.05.15 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1330>
- 2023.05.11 第26回日本医療ガス学会学術大会・総会のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1329>
- 2023.04.28 (再周知依頼) 爆発物を使用したテロ等の未然防止に向けた爆発物の原料となり得る劇物等の適正な管理等の徹底について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1327>
- 2023.04.28 JIMGAnews 第75号発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1326>
- 2023.04.27 「高温水素アタックを受けたHYCOプラント部品の対応指針」発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1325>

- 2023.04.27 「アセチレン発生プラントの機械保全」(改訂1版)発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1324>
- 2023.04.27 「空気液化分離装置の安全運転指針」(改訂3版)発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1323>
- 2023.04.25 「ホスフィンの安全な取扱指針」(改訂1版)発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1320>
- 2023.04.17 2024(令和6)年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1319>



新事務局員の紹介



名前:新堀 英之 (にいぼり ひでゆき)

現住所:宮城県岩沼市

出身地:東京都 (多摩地域に大学まで生息)

略歴: 1989年4月 日本酸素(株) (現日本酸素ホールディングス(株))
 入社
 1989年～ 食品事業本部 仙台と福岡で拠点営業職
 2002年～ 中部支社、北関東支社で支社業務部勤務
 液酸工場2社に出向し業務課長
 2019年～ 第一開明(株)出向で白石、山形、仙台的所長
 を兼任
 2023年5月 JIMGA 東北地域本部 事務局長

趣味: 車が好きです。現在今しかないと思ってマイカーを2台にしました。(駐車場代安っ)
 1台はMTシフトのコンパクトカー、もう1台は今の言葉でいうならネオクラシック
 カー(1994年製)を喜んで運転しています。自分でいじる様などころまではいき
 ませんが中古車サイトなどを見て悦に入っている気持ちの悪い50代です。

抱負: 仙台で勤務する事になり、振り出しに戻ったようでとても感慨深いものがあります。
 本日5月19日ということで、1日異動の小職はまだ何も理解しておりません。です
 がまず職場環境を整え、永續可能な拠点を目指すところから始めたいと思います。
 また本部運営方針に則り、会員様にとってメリットのある組織にすべく、皆様のお力
 を借りながら勤務してまいります。特に会員様との融合という点では歴代でも良い線
 となるよう誠実に明るく取り組んでいきたいです。

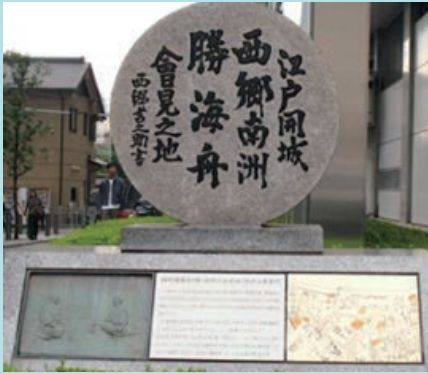
気ままに コラム



< 単身赴任と休日 >

何回目？かの単身赴任もかれこれ4年が過ぎようとしています。今回の単身赴任の休日は、コロナという要因もありますが単独での行動が多く、体力の維持向上や気分転換もかねて1日3～4時間程度歩いて（たまに電車も利用しますが）旧所・名所を見て回る機会が多くなっています。

旧街道を歩いてタイムスリップした気分に慕ったり、当時の



情景をイメージしながら当時の方々の思いを考えてみると、非日常を楽しんでいます。

これからの時期は暑さ対策を十分にした上で、振り返りや意識改革、また新たな発見に出会えることを期待して更に歩いてみたいと考えています。（技術・保安グループ 前田 和也）

生麦事件発生場所

文久2年(1862)8月、江戸から京都へ向かう薩摩藩主の父 島津久光(三郎)の一行400余名の大行列がさしかかったとき、横浜から来た馬の遠乗りを楽しむ4人のイギリス人と遭遇。列を乱された薩摩藩士が「無礼者」と4人に切りかかり、1人が死亡し3人が負傷する事件が起きた。言葉や習慣の違いから発生した不幸な殺傷事件は薩英戦争にまで発展したが、イギリスの近代兵器や文明に圧倒された薩摩藩は攘夷から倒幕・開国へと方針を転換し、明治維新、日本の近代化への道を促進させた。



「生麦之発難」 早川 山徳

